

岡山市及びその周辺地域における安全・安心及びバリアフリー事例調査

建築学科 後藤義明

Keywords : ユニバーサルデザイン、まちづくり、事故、安全計画、障がい者

1. 研究目的

公共建築物等における、バリアフリー、ユニバーサルデザイン状況や危険箇所等を把握し、今後のバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化に向けた、建築関連情報共有システム上の安全安心に関わるデータに資する事を目的とする。

また、本調査を学生のUDに関する教育の場としてとらえ、まちづくりに関わる地元NPO及び障害がある人と建築系学生からなるチームを構成して調査にあたる。本調査は独立行政法人「建築研究所」が実施している「住宅・住環境の日常的な安全・安心性能向上のための技術開発」の中に位置づく研究委託である。

2. 本研究の概要

岡山市及びその近郊におけるハートビル法認定建築物およびそれに準じる公共建築物を対象とし、利用者の視点でユニバーサルデザインやバリアフリーデザインの良いと思われる事例、悪いと思われる事例を採取しWeb上の建築研究所建物情報共有システム「安全安心データベース岡山」に、GPSによる位置情報を含んだ画像データと問題点等の記録内容を登録する。

岡山市 1) 岡山県立美術館 2) 岡山県立図書館 3) ルネスホール 4) 岡山市中心部周辺環境 5) NPO センターきらめき 6) 東横イン岡山西口広場 7) 全日空ホテル 8) 山佐本陣(旅館) 9) 岡山駅 10) 山陽新聞社さん太広場 11) 岡山駅前電停 12) 岡山ドーム 13) 興陽高校 14) 竜操クリニック 15) 千日前交番 16) 大元駅前交番

玉野市 1) 宇野駅 2) 産業振興会館 3) 岡山駅改札内

倉敷市 1) ライフパーク倉敷 2) 倉敷健康福祉プラザ 3) イオン倉敷 4) 倉敷駅 5) 倉敷中央病院 6) 大原美術館 7) 倉敷アイビースクエア

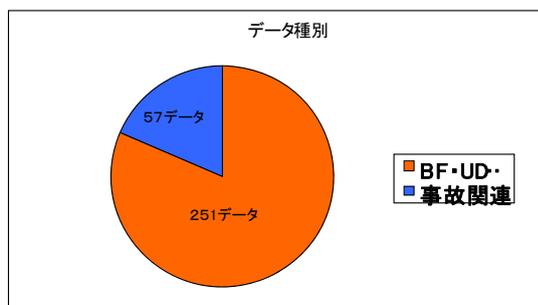


図-1 BF・UD と事故関連の別

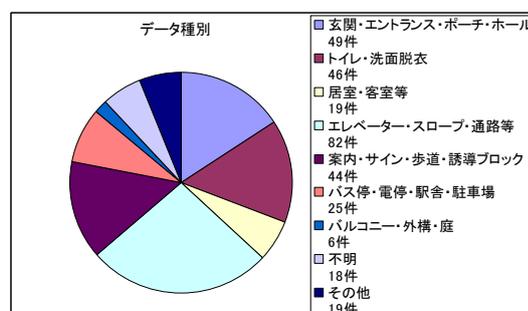


図-2 該当部位・場所